

## 5. 強化工法の組み合わせ例(浸透・侵食・地震)

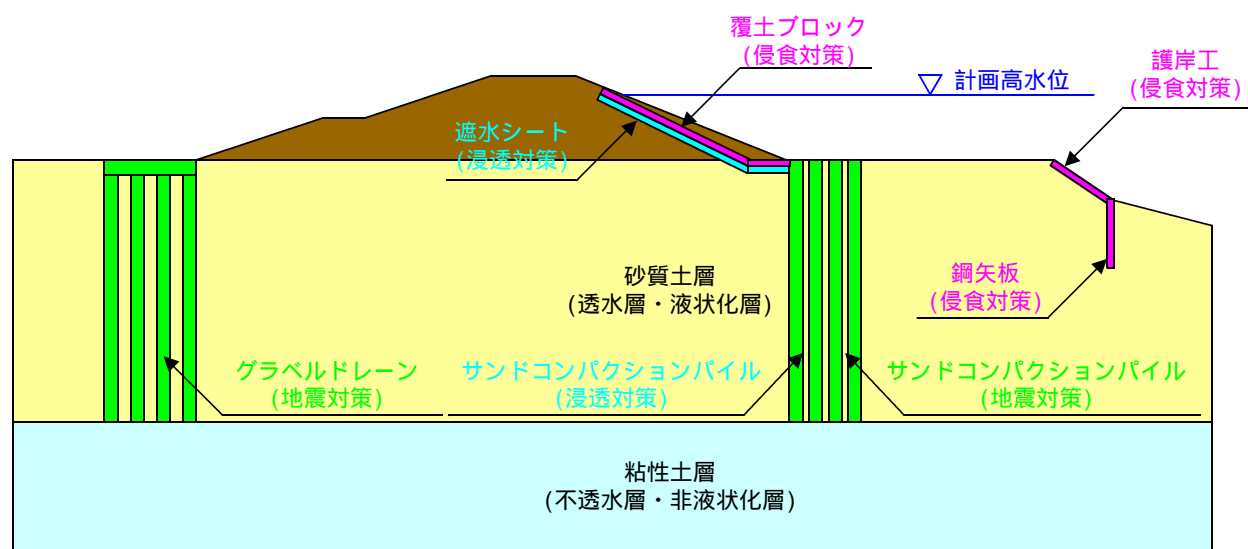
吉野川本川については、浸透および侵食に対する安全性照査はほぼ終了しており、第5回委員会において浸透対策と侵食対策に対する総合検討を行った。しかし、旧吉野川および今切川は、未だ無堤箇所が数多くあることから、安全性照査は終了していない状況にある。

一方、「東南海・南海地震」のような大規模地震に対する堤防の安全性照査は、全国的な照査手法が示された段階で、吉野川下流域(旧吉野川・今切川を含む)全体で実施し、津波遡上解析の結果と併せて現況堤防の安全度を示す予定である。

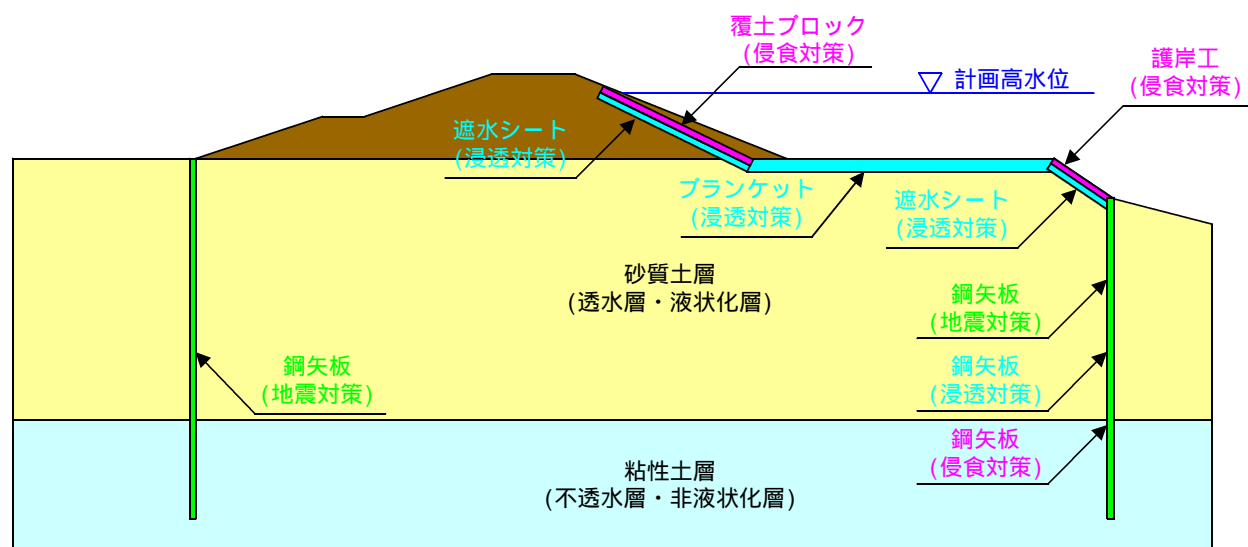
したがって、現状では、浸透、侵食、地震に対する強化工法の具体的な検討はできないため、本委員会では「地震対策選定の基本方針」と想定される強化工法の組み合わせ例を以下に示す。

吉野川

【地下水利用がある場合】



【地下水利用がない場合】

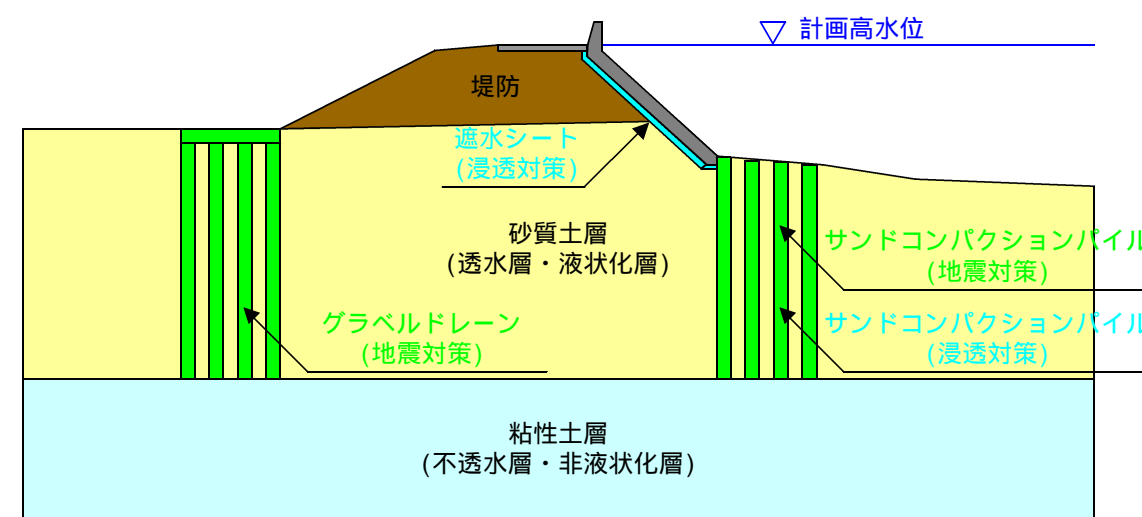


地震対策選定の基本方針

- ・複数の対策工法に対して、自然環境への影響、河川利用への影響、維持管理上の問題点、施工性、経済性を考慮する。
- ・浸透対策工や侵食対策工と併せてそれぞれが相乗効果を発揮できるように配慮する。
- ・設計施工に際しては、詳細点検により定量的な評価を行う。

旧吉野川および今切川

【地下水利用がある場合】



【地下水利用がない場合】

